

2023 年度（令和 5 年度） 豊中市立環境交流センター 事業報告書

特定非営利活動法人

とよなか市民環境会議アジェンダ 21

<目次>

1. 全体のまとめ	2
2. 施設の維持管理・運営体制	4
3. 管理運営業務の実施状況	
(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供	1 0
(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供	2 5
(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施	3 3
(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供	4 4
(5) その他	4 6
4. 施設の利用状況	4 7
5. 指定管理業務に係る経費の収支状況	5 1

【報告書内の表記について】

- ・参加者数に当団体の職員は含んでいません（注釈のある場合を除く）。
- ・当団体の会員とは、当団体で活動するボランティ

1. 全体のまとめ

環境交流センター（以下、「センター」という。）は、地球温暖化の防止に資するとともに、循環型社会の形成を図る拠点として、また、環境学習を推進する施設として位置づけられています。

一方、指定管理者である特定非営利活動法人与なか市民環境会議アジェンダ 21（以下、「当団体」という。）は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように位置づけられている、“地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ 21」”（ローカルアジェンダ 21）を推進する組織として、豊中市域における持続可能な地域の実現をめざして、市民が主体となり、行政・事業者と連携して活動を行っています。

センターの事業目的は、地球温暖化の防止に資するとともに、循環型社会の形成を図る拠点施設として、また、環境学習を推進する施設として位置づけられており、当団体が推進する「豊中アジェンダ 21」の内容と完全に一致しています。センターの運営を通して、「第 3 次豊中市環境基本計画」と「第 3 次豊中アジェンダ 21」が共有する「望ましい環境都市像」の実現、および「豊中アジェンダ 21」の 80 項目の行動提案の達成をめざして、センターを管理・運営しました。

これまでの 2 期・10 年間の運営を踏まえて、第 3 期ではこれらを継続・アップデートする考え方（施設運営の方向性）で「芽を育てながら、新しい種をまく」とともに、その先のステージも見すえた「交流を越えた成果の見える化」にも取り組み、センターの内外で年齢・性別・身体・国籍といった多様な人々との関わりを通して、持続可能な地域づくりに寄与していくこととしました。

2013 年度からの第 1 期では、多くの市民の利用者に対して「種をまく」期間とし、2017 年度からの第 2 期では、まいた種を「いかに育てて・つないでいくか」をイメージしてきました。特に、種を育てていくにあたり、“環境＝家庭や社会での生活そのものであることを気づいてほしい”“気づいたことを周りに伝えてほしい”“学んだことが地域に広がってほしい”という考えのもとに取り組みました。

2023 年度からの第 3 期における事業運営の考え方として、第 2 期までに芽が出たものを育てていくとともに、さらなる市民の広がりを作るために新たな種をまいていくことが必要です。すなわち、“これまでよりもっと多くの市民が利用・交流する施設”をイメージしながら、これまで行ってきた事業をアップデートし、より良い形で継続していくとともに、センターの利用者を広げることや情報の受発信による広がりなどを進めました。

また、センターにおけるこれまでの事業は、そのほとんどが普及啓発や環境学習などにつながるものであり、環境目標の達成につながるような直接的な数値の改善・成果を得るものではなかったところが課題でした。そこで、第 3 期ではセンターの中長期的な方向を見すえて、交流を越えた成果の見える化の取り組みも実施していきます。これにより、センターで第 4 期が開始する 2028 年度以降は、センターの目的が利用や交流だけではない施設運営へと発展するための流れを作っていくことを想定しています。

こうした事業運営の考え方をまとめると以下の通りです。

<センター運営のイメージ>

・これまでよりもっと多くの市民が利用・交流する施設

<センター運営の方向性>

芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）

交流を越えた成果の見える化（次のステージに向けて）

[芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）]

[交流を越えた成果の見える化（次のステージに向けて）]

センターの評価指標について、第3期は利用者数（センターの来場者数＋センター外での行事等の参加者数＋オンラインでの行事等の参加者数）と稼働率になります。確保すべきサービスレベルは17,000人と44%、最高評価サービスレベルは25,500人と66%になっています。2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、センターの来場者数は16,000人を下回りました。

そこで、2023年度は新型コロナウイルス感染症からの脱却と、新たな取り組みを含めた多様な事業の実施を通して、利用者数を確保していくことに努めました。その結果、2023年度の利用者数（センターの来場者数＋センター外での行事等の参加者数＋オンラインでの行事等の参加者数）は17,520人で、確保すべきサービスレベルの17,000人を上回りました。内訳は、来館者数が16,540人で、行事等の参加者数が館外とWEBをあわせて980人でした。行事等の参加者数についても、不用品交換コミュニティボードの参加者数などの一部のカウント方法が異なるものの、2022年度の554人から約1.8倍増加しました。また、2023年度の稼働率は61.5%で、2022年度の稼働率69.9%から減少したものの、引き続き高い稼働率を維持しています。

事業の実施については、第3期から新たな取り組みを開始するものも多いことから、2023年度は第3期の1年目として、新たな取り組みの検討や試行的実施も含めて進めました。具体的には、子ども服リユースのイベント実施、センター外でのリユース品の回収の試行、わっぱるでの自然体験などを行いました。

2. 施設の維持管理・運営体制

(1) 施設概要

- ・施設名 豊中市立環境交流センター
- ・所在地 豊中市桜塚1丁目24番20号
- ・施設規模 床面積 658.97 m²
- ・開館時間 9時～17時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
12月29日～1月3日
- ・貸室区分 9時～12時、13時～17時
- ・受付開始 目的利用：使用日3ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
目的外利用：使用日1ヵ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
- ・貸室 会議室1、会議室2、展示スペース（会議室1はABCの3つに分けることができる）

(2) 開館日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
日数	26日	26日	26日	26日	27日	26日	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26日	26日	24日	24日	25日	27日	309日

(3) 運営体制

①職員

2023年度は年度途中に職員の退職や新規採用があったことや、育児休業を取得した常勤職員がいたものの、実質的に概ね5人の職員体制でセンターの運営にあたりました。内訳は、総括責任者1人、職務代理者2人（以上3人が常勤）、非常勤職員2人です。この他に、センターに勤務をしないアルバイト職員も3人が、在宅でのSNS発信やイベント時のサポートなどを行いました。

②担当理事

センターの運営と当団体の活動がうまくリンクするため、および、運営に関する当団体の意思決定を円滑に進めるため、当団体理事の中から担当理事5人（理事職の総括責任者含む）を選出し、担当理事会を2回開催しました。

また、当団体の職員を対象に実施した人権研修と同じ内容を当団体の理事にも実施し、職員だけでなく理事に対しても人権問題に対する理解を深める機会作りを行いました。

月日	2月1日（木）	3月5日（木）	3月21日（木）	合計
参加者数	5人	4人	7人	16人

※3月21日は理事を対象とした人権研修として実施

③研修の実施

職員の能力向上、および施設運営に必要な知識を得るため、当法人で策定した人材育成基本方針等に基づき研修の参加・実施を行いました。

日時	内容	会場	研修の種類	参加者数
7月14日（金） 15:00～17:00	令和5年度人権問題事業者学習会（豊中市主催）	すてっぷ	人権に関する研修	1人

7月28日(金) 17:15～18:00	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
1月19日(金) 17:30～18:15	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
1月26日(金) 10:00～12:00	1年目研修	環境交流センター	専門的な研修	2人
3月15日(金) 17:15～18:00	人権研修	環境交流センター	人権に関する研修	5人
3月15日(金) 18:00～18:30	SDGsに関する研修	環境交流センター	専門的な研修	5人
合計	6回			23人

※センター運営にあたった当団体職員の中の参加人数

(参考) 研修の種類別の実施回数・人数

種類	回数	延べ人数
(1) 人権に関する研修	2回	6人
(2) 基礎的な研修	2回	10人
(3) 専門的な研修	2回	7人
(4) 自主的に受講する研修	0回	0人
(5) 資格取得に関する研修	0回	0人
合計	6回	23人

※職員全員を対象とした人権研修は同内容を当団体理事にも実施(②担当理事の欄に記載)

④職員との意見交換

職員の処遇改善として、2024年3月に賃金規則の改定を行いました。これに際して、当団体の理事長から職員への説明を実施しました。また、理事長による各職員との面談を行いました。

職員との面談：3月14日(木)

賃金規則改定に際しての職員への説明：3月24日(日)

(4) 運営会議

業務の状況報告やモニタリング、管理運営の検討などを行うため、当団体職員とゼロカーボンシティ推進課による運営会議を環境交流センター、またはオンラインにて毎月実施しました。

月日	4月21日(金)	5月19日(金)	6月20日(火)	8月2日(水)
当団体	2人	2人	2人	3人
市	3人	2人	2人	2人
月日	8月25日(金)	9月22日(金)	10月31日(火)	11月29日(水)
当団体	3人	2人	2人	2人
市	2人	2人	2人	3人
月日	12月19日(火)	1月17日(水)	2月21日(水)	3月26日(火)
当団体	2人	2人	2人	2人
市	2人	2人	2人	2人

※7月は当団体職員の家族が新型コロナウイルス感染症の陽性となったため、8月2日に延期して実施

（５）来場者アンケート

施設利用者に対するサービス改善、および指定管理者のモニタリング事項として、来場者アンケートを実施しました。結果については、別途提出した報告書の通りです。なお、毎年 100 枚以上の回収を目標としていますが、2023 年度は 100 枚に達しませんでした。

- ・期 間：2 月 8 日（木）～29（木）
- ・対 象：センターに来場した高校生以上の方
- ・回収数：82 枚（目標数 100 枚）
- ・実施方法：受付への設置、および来場者への配布
- ・その他：回答者の中から抽選で 10 人に図書カード（500 円）を進呈

2023 年度は中学生以下を対象とした簡易なこどもアンケートは実施せず

（６）設備点検・維持、および修繕

①設備の点検・維持（定期）

- ・床のワックスがけ（年 3 回）
- ・床のワックス剥離（年 1 回）…会議室 1、トイレのみを実施
- ・空調設備の点検（年 4 回）…業者による点検 2 回、職員による簡易点検 2 回
- ・自動扉の点検（年 4 回）
- ・消防設備の点検（年 2 回）
- ・屋根上の点検（年 2 回）…空調設備の簡易点検とあわせて実施

②設備や備品の修繕・追加

月 日	内 容
3 月 25 日（月）	事務室 PAC 室内機ファンモーター取替並び洗浄工事

③その他

月 日	内 容	備 考
4 月 19 日（水）	取引用計量装置の取替	所定の定期取替
7 月 20 日（木）	消防署による査察	特に問題なし。施設内の状況の確認があった
2 月 20 日（火）	関西電気保安協会による点検	特に問題なし

（７）安全管理対策の状況

①安全管理マニュアル

当団体の職員、および会員が生命身体に危険を及ぼす可能性のある作業を行う際の留意事項をまとめた「安全管理マニュアル」を作成・提出しました。同マニュアルは、当団体の職員全員、および該当する会員に配布するとともに、事務室や倉庫などの目立つ場所に掲示しました。

なお、2023 年度中に該当する対応はありませんでした。

②緊急時のマニュアル

急病・けが、交通事故、地震、不審者・不審物、火災、警報といった緊急時の対応をまとめたマニュアルを整備しています。

なお、2023 年度は緊急時の対応はありませんでした。

③賠償責任保険、行事保険

センターの来場者への責任を果たすため、賠償責任保険に加入しました。また、屋外で実施するイベントのうち、参加者が負傷する可能性があると思われる行事に対し、行事保険に加入しました。

なお、2023 年度中はいずれの保険も執行はありませんでした。

④新型コロナウイルス感染拡大予防に関する対応

【施設運営における主な対策】

- ・施設利用者向けの掲示（5 月 7 日まで）
- ・アルコール消毒液の設置
- ・受付周辺の対策
 - 飛沫防止対策のビニール設置
 - お金の受け渡しはプラスチック製のトレイを利用
- ・熱交換換気扇による換気の実施（5 月 7 日まで）
- ・消毒の実施（5 月 7 日まで）

【行事における主な対策】（5 月 7 日まで）

- ・会場内での距離の確保
- ・アルコール消毒液の設置
- ・チェックリストの作成・掲示・保管

【施設利用者へのお願い】（5 月 7 日まで）

- ・熱があるなど体調の優れない方はご欠席（ご帰宅）いただくこと
- ・手指のアルコール消毒か、手洗いをすること

【チェックリストの作成・掲示・保管】（5 月 7 日まで）

月	4 月	5 月	合計
件数	5 件	1 件	6 件

【主な経過】

月日	内容
5 月 8 日（月）	5 類移行後の対応について、ゼロカーボンシティ推進課から連絡。
5 月 9 日（火）	5 類移行後の対応についての不明点をゼロカーボンシティ推進課と確認。 5 類移行後の対応についてホームページを更新。 交流フロア、キッズコーナーなどをコロナ流行以前のレイアウトに戻す。

※行事の申込者、貸室の利用者、一般の問合せ、広報や掲出関係の対応等は記載せず

（8）クレーム・課題点

センターの運営の中で、確認された課題点について、適切に対応・改善しています。なお、2023 年度は特筆すべきクレームはありませんでした。

月日	内容	対応
7月16日（日）	自称イギリス人という男性から電話があり、なまりのある英語と片言の日本語を使いながら、電話に出た女性職員に名前を聞いたり、英語を訳して日本語で答えるように求めてきた。途中から性的な用語が混ざるようになったため、女性職員が警察に連絡する旨を伝えると電話は切れて、再びかかってくることはなかった。	週末であったことや、 2019 年度にも類似のケースで相談をしたことがあったため、後日の運営会議でゼロカーボンシティ推進課に報告した。

（9）その他

①リユースコーナーの展示品の盗難に関する対応

月日	内容
6月28日（水）	リユースコーナーの展示品のうち、陶器の食器（1点）がなくなっていることに、職員が気づいた。防犯カメラで確認したところ、年配の女性1人が展示場所で手提げのバッグに陶器の食器を入れて、何も言わずに持ち帰っていた。クリーンランドのリユースコーナーの対応をしていた、NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラムに報告を行い、同団体の指示により陶器の食器の応募があったかどうかを確認したところ、応募者はいなかった。それを踏まえて、警察への届出や今後の展示について、同団体がクリーンランドと協議するとのことであった。これらの経過について、ゼロカーボンシティ推進課に報告した。
6月29日（木）	NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラムから連絡があり、リユース品の所有者がいまいであることから警察へは届出ししないこと、また、該当するリユース品に応募者がいなかったことから展示品が1点減った形でリユースコーナーを継続する旨の説明があった。センターのスタッフブログに展示品の写真を掲載していたが、6月29日付で都合により該当する1点の展示の取り下げを追記した。これらの経過について、ゼロカーボンシティ推進課に報告した。
6月30日（金）	今後の対応策について、NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラムと協議を行った。センターからは、もともと防犯カメラで写っている位置に展示してもらっていることを説明し、今後はその場でバッグなどに入れられないような大きさのリユース品の展示をお願いした。同団体からは、リユースコーナーの参加者が持ち帰りやすい大きさのリユース品の出品は残しておきたいという意向があり、今後は展示場所に防犯カメラを設置している旨がわかるように表示することで、抑止力を高めていくことなどを確認した。

②駐輪場に停めていた電動自転車のバッテリー盗難に関する対応

月日	内容
8月29日（火）	閉館時に小学生から駐輪場に置いていた電動自転車のバッテリーとカギがなくなっていると申し出があった。一緒に来ていた友人を通じて、小学生の保護者の連絡先を確認し、職員が電話で保護者に状況を説明した。家族が予備キーを持って自転車を引き取りに来たが、警察に被害届を出したいという話であったため、職員が豊中警察署に電話して対応を相談したところ、被害届はセンターではなく、持ち主から交番へ届け出るようにとの説明を受けたため、そのように説明を行った。並行して、防犯カメラの映像も確認したが、防犯カメラの性能劣化により早送りができなくなっており、小学生の滞在時間中にすべてを確認できなかった。

8月30日（水）	前日に発生した状況について、ゼロカーボンシティ推進課に報告。バッテリーの盗難の被害届が提出されたことを受けて、豊中警察署から駐輪場の確認と、防犯カメラ映像の確認があった。職員が前日の経過や確認した範囲の防犯カメラ映像について状況を説明し、捜査員は約半日かけて複数のカメラ映像の確認と記録を行った。
9月8日（金）	防犯カメラ映像について、あらためて映像を録画したいと豊中警察署から連絡があり、捜査員が再び約半日かけて複数のカメラ映像の記録を行った。

3. 管理運営業務の実施状況

(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供

これまでも多くの市民がセンターと関わり、交流をはかることができるように、センターに対して愛着を持ってもらう取り組み、個人や団体が日常的に受けられる取り組み、日程を定めたイベントなどを、利用者と地域団体や市民と一緒にしてきました。

第3期の初年度となる2023年度は、そうした交流の場を継続・拡充していくとともに、より多くの団体等が利用・交流することや、地域での事業展開を通して地域の協働の促進に取り組みました。

① フリースペース・キッズコーナー

展示スペースにテーブル・イスを設置して貸室利用がない時に予約なしに利用できるフリースペースと、子どもが靴を脱いで遊べるスペース（キッズコーナー）を設けています。新型コロナウイルス感染症対策として、2022年6月からフリースペース・キッズコーナーを条件付きで再開していましたが、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、2023年5月9日からは制限なしで（新型コロナウイルス感染症の流行以前と同様で）実施しました。



② ポイントカードの配布

施設を利用してもらうためのツールとして、来場者（小学生以上）を対象にポイントカードを配布しました。施設の利用や行事の参加などに応じてポイントを付与し、ポイントが貯まれば景品を進呈するもので、中学生以下の希望者に対しては、これまで同様にジュニア用のポイントカードを配布し、カードは施設で保管する形としました。

ポイントカードは、2022年度まではファンクラブメンバーを対象に実施していましたが、2023年度からは誰でも利用できる形へと変更しました。また、中学校の卒業以降はジュニア用ではなく、一般のポイントカードに変更となることから、年度末に新たに一般へと切り替わるジュニアの対象者に対して、ポイントカード変更の案内を送付しました。

2023年度の景品交換数は58件で、2022年度の48件から増加しました。また、ポイントカード変更の案内を送付したジュニアの対象者は19人でした。



③陶器とりかえコーナー

家庭で使わなくなった陶器を回収・展示し、希望する来場者が自由に持ち帰ることができるようにします。2022 年度までは赤ちゃんからの ESD が実施している「陶器とりかえ隊」の常設コーナーとしていましたが、同団体の活動内容が変わってきたことから、2023 年度からは施設の取組みとして実施していくこととしました。

新型コロナウイルス感染症対策として、回収した食器を消毒していたため、2022 年度は週 2 日程度に限って持ち込み分を受け入れしていましたが、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行に伴い、2023 年 6 月からは制限なしで（新型コロナウイルス感染症の流行以前と同様に消毒等を実施しない対応で）受け入れを行いました。

また、陶器とりかえの成果を見える化することを目的に、2024 年 3 月に持ち込まれた陶器の計量を行ったところ、1 か月間で約 164kg の陶器を回収・循環したことがわかりました。2015 年度に同様の取組みを実施した際は、3 ヶ月間で約 370kg（1 か月平均で約 123kg）の陶器を回収・循環したことから、当時よりも多くの陶器が循環したと言えます。

なお、2018 年度から豊中市伊丹市クリーンランドの事業として、陶器を回収してリサイクルする事業（実証実験）に協力し、やむなく廃棄していた、とりかえできない陶器をクリーンランドへ提供しています。2023 年度中にクリーンランドへコンテナボックス 1 箱分の陶器を提供しましたが、同事業は 2024 年 1 月末で終了となりました。



④リユースコーナー

豊中市伊丹市クリーンランドや豊中市家庭ごみ事業課と連携し、クリーンランドで回収したまだ使える家具や、豊中市臨時ごみリユース支援事業から提供を受けた家具などのリユース品を展示し、最終日に抽選会を行って、希望する市民へ提供しています。

2023 年度はそれぞれの連携先と 1 回ずつの実施を行いました。なお、豊中市伊丹市クリーンランドからのリユース品は当初 10 点でしたが、展示期間中に来館者が 1 点を無断で持ち帰る事態となり、該当するリユース品に応募者がいなかったことから展示品が 1 点減った形でリユースコーナーを継続しました。

期間	提供元	応募数	抽選会・抽選者	抽選方式
6 月 7 日（水）～ 7 月 2 日（日）	豊中市伊丹市クリーンランド	9 点すべてに 合計 40 件	7 月 3 日（日）14:00～ 参加者 40 人（スタッフ含む） クリーンランドが抽選	抽選会の参加者を優先
11 月 8 日（水）～ 30 日（木）	豊中市臨時ごみリユース支援事業	14 点中 10 点 に合計 29 件	10 月 1 日（土）14:00～ 参加者 2 人 センター職員が抽選	抽選会の参加に関わらない

※豊中市伊丹市クリーンランドからのリユース品は、6 月 29 日から 9 点となった



⑤不用品交換コミュニティボードの運営

2012 年度までリサイクル交流センターが実施していた不用品交換コミュニティボードを引き継ぎ、センター内での掲示とインターネットでの掲載を行いました。また、近隣市で同様の仕組みを運営している施設の情報を、ホームページに掲載して紹介しました。

2023 年度からの第 3 期では、仕様書に記載の取組みではなくなったものの、2021 年度後半頃から掲載の希望が増加していることから、2023 年度も継続して実施しました。2023 年度の新規受付は、譲りたいが 25 件、譲ってほしいが 10 件で、いずれも 2022 年度の 75 件と 15 件から大幅に減少しました。

【「譲りたい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4 月分	10 件	2 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件
5 月分	8 件	0 件	3 件	0 件	2 件	0 件	2 件
6 月分	6 件	3 件	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件
7 月分	2 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
8 月分	2 件	0 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件
9 月分	2 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
10 月分	5 件	4 件	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
11 月分	7 件	3 件	2 件	0 件	0 件	0 件	1 件
12 月分	6 件	1 件	1 件	1 件	0 件	1 件	0 件
1 月分	9 件	5 件	4 件	1 件	0 件	0 件	0 件
2 月分	6 件	2 件	2 件	2 件	2 件	0 件	0 件
3 月分	4 件	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
年度通算	33 件	25 件	18 件	5 件	6 件	1 件	0 件

※2022 年度から繰り越した掲出 8 件、2024 年度へ繰り越した掲出 4 件

【「譲ってほしい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4 月分	6 件	2 件	1 件	1 件	0 件	0 件	1 件
5 月分	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
6 月分	6 件	2 件	1 件	1 件	1 件	1 件	0 件
7 月分	2 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
8 月分	2 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

9 月分	2 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
10 月分	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
11 月分	4 件	3 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
12 月分	4 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
1 月分	4 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
2 月分	4 件	0 件	0 件	3 件	0 件	0 件	0 件
3 月分	2 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件
年度通算	14 件	10 件	2 件	9 件	1 件	1 件	0 件

※2022 年度から繰り越した掲出 4 件、2024 年度へ繰り越した掲出 1 件

【施設外の参加人数】

	合計	譲りたい			譲ってほしい		
		応募	希望	交渉	応募	希望	交渉
4 月分	2 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
5 月分	3 人	0 人	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人
6 月分	5 人	0 人	0 人	3 人	1 人	0 人	1 人
7 月分	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
8 月分	1 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
9 月分	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
10 月分	2 人	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
11 月分	3 人	2 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
12 月分	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
1 月分	3 人	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
2 月分	2 人	1 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人
3 月分	1 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
合計	24 人	12 人	0 人	10 人	1 人	0 人	1 人



⑥リユースバザー

参加する市民を募集し、家庭で使わなくなった衣服や生活用品を安く販売するリユースバザーを開催しています。新型コロナウイルス感染症の流行以前は、地域こだわりマルシェ&野菜市場と同時開催することで、集客を確保するとともに、定期的に古本市（しょうない REK）や省エネ相談会を同時開催することで、複合的なにぎわいを作り出してきました。

2022 年度は新型コロナウイルス感染拡大予防として会場内の距離を確保するため、出店の条件や入

場制限などを行いながら、同時開催の企画なしで不定期に実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行に伴い、2023 年 8 月からは偶数月に隔月開催とし、地域こだわりマルシェ & 野菜市場と同時開催する形としました。

月日	出店数	参加者数	同時開催
6 月 24 日 (土)	12 店	107 人	
8 月 5 日 (土)	13 店	134 人	地域こだわりマルシェ & 野菜市場、省エネ相談会
10 月 7 日 (土)	13 店	110 人	地域こだわりマルシェ & 野菜市場
12 月 2 日 (土)	13 店	150 人	地域こだわりマルシェ & 野菜市場
2 月 3 日 (土)	13 店	135 人	地域こだわりマルシェ & 野菜市場
合計	64 店	636 人	

※時間は 6 月のみ 10:00～13:00、8 月以降は 10:15～13:00

※参加者数は同時開催の人数を含む



⑦親子ぐるぐるフェス

未就学児から小学生くらいの子どもとその保護者を対象に、リユースやアップサイクル、リペアなどの行動を通してモノと向き合い、モノを大切に作る習慣と、ごみの減量を意識した暮らしを考えるための参加・体験型イベントとして開催しています。子ども店長によるリユースバザー、制服・学用品や絵本の交換会などを通して、参加者同士の交流をはかるとともに、他団体と連携して絵本の読み語りやリサイクル工作なども一緒に開催しています。

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症へ移行したことから、2023 年度は会場の配置等を以前と同様の形で実施できました。一方で、子ども店長によるリユースバザーは運営体制などが十分でないことから、2023 年度も実施を見送りました。

日時	内容	参加者数
9 月 1 日 (金)～10 月 5 日 (木)	絵本の回収	—
1 月 21 日 (日) 13:00～15:30	親子ぐるぐるフェスの開催	160 人

※参加者数は出店者を含む



⑧地域こだわりマルシェ＆野菜市場

地産地消および循環型社会の推進のため、とよっぴーで育てた豊中産の野菜などを有料配布しました。また、「豊中市小売商業団体連合会」と連携し、環境や健康に配慮し、こだわりを持って地域で商いをしているお店の商品も販売しました。

月日	4月1日	5月6日	6月3日	7月1日	8月5日	9月2日	
参加者数	51人	54人	47人	46人	134人	28人	
月日	10月7日	11月4日	12月2日	1月6日	2月3日	3月2日	合計
参加者数	110人	51人	150人	35人	135人	37人	878人

※いずれも土曜の10:00～11:00で実施

※参加者数は販売のスタッフを含む

※8・10・12・2月はリユースバザーと同時開催のため、バザーの参加者を含む



⑨自然工作

小学生などの子どもを対象に、豊中産の自然素材（竹や小枝など）を使って自然工作を行いました。工作の過程や、できた工作物（おもちゃ）で遊ぶことを通じて、長らく自然環境の保全に取り組むシニアと、次世代の子どもたちの交流をはかるとともに、自然工作の材料となる素材を通して、豊中の雑木林の現状や、自然環境への理解を深める機会としています。

2023年度は、例年同様の2回開催しましたが、うち1回は初めてセンター外で行いました。

日時	内容	講師	場所	参加者数
8月11日（祝） 10:00～11:30	豊中の木で作るカブトムシ たち	当団体の竹炭プロジェク トのメンバー	環境交流セン ター	28人
12月9日（土） 9:45～11:00	葛のつるで世界に一つだけ の籠作り		庄内コラボ センター	17人
合計	2回			45人

※参加者数は当団体の会員を含む



⑩おもちゃ病院

とよなか・おもちゃ病院と連携し、モノを長く使ってもらうため、壊れたおもちゃを修理する場を作りました。その場で修理できなかったおもちゃは、入院として一時預かりを行い、とよなか・おもちゃ病院が修理後、持ち込んだ方へお返ししました。

2023 年度の参加者数は、2022 年度と比べて 120 人以上（1 回あたり 10 人以上）増加しており、取組みが広がっていると言えます。また、2023 年度は、施設外での開催も検討し、センターの取組みとしては実施に至りませんでしたが、とよなか・おもちゃ病院として、とよなか市民環境展へ出展した際に入院したおもちゃは、センターでの開催時に返却するといった連携を行いました。

月日	4 月 8 日	5 月 13 日	6 月 10 日	7 月 8 日	8 月 12 日	9 月 9 日	
参加者数	46 人	55 人	70 人	50 人	31 人	60 人	
月日	10 月 14 日	11 月 11 日	12 月 9 日	1 月 13 日	2 月 10 日	3 月 9 日	合計
参加者数	44 人	50 人	42 人	42 人	31 人	52 人	573 人

※いずれもすべて土曜の 10:00～11:30 で実施

※参加者数はおもちゃ病院のスタッフを含む

※2 月は省エネ相談会を同時開催（省エネ相談会のみ参加者は人数に含んでいない）



⑪おはなし会「わにわに」

未就学児と保護者を対象にした絵本の読み語りを開催しました。環境につながる絵本を取り入れることや、簡単な手づくり工作をセットで行うことで、若い親子世代が環境やリサイクルに親しんでもらう機会としています。

2023 年度も偶数月に 5 回実施するとともに、親子ぐるぐるフェスの企画としても実施しました。

月日	6 月 11 日	8 月 6 日	10 月 15 日	12 月 10 日	1 月 21 日	3 月 3 日	合計
参加者数	9 人	19 人	19 人	9 人	43 人	12 人	111 人

※いずれも日曜、単独開催は 10:30～11:30 で実施

※当団体の企画屋本舗プロジェクトが実施（参加者数は企画屋本舗の担当者を含む）

※1 月 21 日は親子ぐるぐるフェスにて実施



⑫ロハスな映画の上映

「ちょっとロハスな映画祭」と題して、複数の映画・複数回の上映を行います。映像を通じて日本・世界の環境や文化への理解を深めるとともに、参加者同士の交流を通して、参加者が「自分ごと」として捉えなおし、地域で行動するきっかけにつなげます。2022年度までは、あしたの暮らしとよなかと連携して開催していましたが、あしたの暮らしとよなが映画の上映を（一社）ソーシャルギルドに引き継いだため、2023年度は（一社）ソーシャルギルドと連携して実施します。

2014～2016年度に、「種まきシアター」と題した映画上映をあしたの暮らしとよなかと連携して開催していましたが、その後、「種まきシアター」はあしたの暮らしとよなが助成金などを獲得し、自立して実施していましたが、2023年度からは「種まきシアター」を施設と（一社）ソーシャルギルドが引き継ぎ、両者が連携して豊中市内の各地で映画の上映を行いました。

【ちょっとロハスな映画祭】

日時	内容	参加者数
6月11日（日） 10:00～17:00	第5回ちょっとロハスな映画祭 上映作品 「ザ・トゥルー・コスト」 「からむしのこえ」 交流フロア企画「ゲストと共に、映画で得た気づきを深めるシェア会」など	40人

※参加者数は共催団体の関係者などを含む



【種まきシアター】

日時	内容	場所	参加者数
9月21日（木） 10:00～12:00	種まきシアター「からむしのこえ」上映会	ライブカフェアレサ	9人
9月30日（土） 10:00～12:00		カフェサパナ	16人
合計	2回		25人

※参加者数は共催団体の関係者などを含む



⑬リサイクル工作展

小学生が夏休み中の自由研究などで作成したリサイクル工作の作品を募集・展示し、豊中市と連携して優秀作品を表彰しました。

2023 年度の応募は 43 件で、環境交流センターとして過去最大の件数となった 2022 年度の 71 件よりは減少したものの、2021 年度の 47 件と同程度となっています。

期間	内容
8 月 1 日（火）～6 日（日）	作品の募集（43 件）
8 月 9 日（水）～19 日（土）	作品の展示（入賞 5 件）



⑭施設間連携の企画（とよなかシネコン）

豊中市内で指定管理等により運営している各分野（国際交流、男女共同参画、人権、市民公益活動など）の施設と連携し、施設間で連携した企画を実施しています。新型コロナウイルス感染症が流行して以降の 2020～2022 年度は 5～6 施設が連携した映画上映「とよなかシネコン」を実施し、各施設ともに市民に好評であったことから、2023 年度も継続して実施し、施設間の連携を深めました。2023 年度は、各施設ともに参加者にマチカネポイントを付与することで足並みを揃えとともに、マチカネポイントの QR コードによる付与の対応について、当団体が各施設へとレクチャーしました。

また、センターでは、ちょっとロハスな映画祭などと同様に、これまではあしたの暮らしとよなかの協力を得て、映画の上映を行っていたことから、2023 年度はとよなかシネコンも（一社）ソーシャルギルドの協力を得て上映を行いました。

日時	行事名	参加者数	マチカネポイント付与
12 月 16 日（土） 10:00～12:00 13:30～15:30	とよなかシネコン「こどもかいぎ」 （同じ内容を 2 回上映）	23 人	7 人

※参加者数は協力団体のスタッフを含む



⑮制服・学用品の回収・支援

豊中市内で市民活動に取り組む有志などで構成する「おさがりの会」と連携し、まだ使える制服や学用品をセンターで回収し、必要とする人へのマッチングを行っています。さらに、**2022** 年度にはこの取組みが環境×福祉の事業へと発展することをめざして、回収した制服や体操服、ランドセルなどの情報を **Instagram** の非公開アカウントに制服等の写真とサイズ等の情報を掲載し、子育て支援や生活困窮者支援の活動をしている方と共有しました。

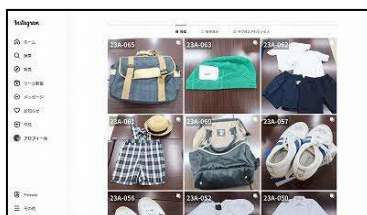
2023 年度は、引き続き制服や学用品を回収・保管するとともに、生活困窮者支援や外国人支援をしている団体への情報提供を実施し、まだ使える制服や学用品を効果的に活用しました。特に、ランドセルは 30 個以上を提供するなど、一定の協力を果たすことができました。

【制服・学用品等の回収・販売】

日時	内容	スタッフ数
5 月 9 日（火）～31 日（水）	制服・学用品等の回収 制服、ランドセル、文具など約 420 点	—
1 月 21 日（日）13:00～15:30	制服・学用品等の販売（親子ぐるぐるフェス） 制服・体操服、上靴、文具など約 130 点	2 人

【生活困窮者支援の関係者を通じて、制服・学用品等の提供】

時期	件数（内容）
4 月	3 件（ランドセル 25 個、リコーダー 1 点、鍵盤ハーモニカ 1 点）
6 月	1 件（体育館シューズ 1 点）
10 月	1 件（鍵盤ハーモニカ 1 点）
11 月	1 件（ランドセル 1 点）
12 月	1 件（ランドセル 2 点）
2 月	2 件（ランドセル 1 点、体操服 2 着、ノート 3 冊）
3 月	2 件（ランドセル 5 点）



⑩子ども服の回収・配布

センターでは、これまでも毎年期間を定めて子ども服を回収し、豊中市家庭ごみ事業課へ提供を行ってきました。その一方で、2021～2022 年度に（一社）ソーシャルギルドが施設を会場に子ども服リユースを実施し、特に、2021 年度は家庭ごみ事業課の保有する子ども服を使った豊中市の実証実験によるものでした。

その他にも、豊中市内で子ども服の循環や回収・配布に取り組む団体などが複数あることから、2023 年度はそうした団体が集まって連携できる方法を検討する意見交換会を開催しました。また、意見交換会を踏まえつつ、他団体とも連携して子ども服の回収・配布を企画し、施設と施設外の両方で実施しました。

【子ども服リユースの意見交換会】

日時	場所	参加者数	一時保育
4 月 27 日（火） 10:30～12:00	環境交流センター	7 人	1 人
7 月 14 日（金） 10:00～12:30	市民公益活動支援センター	7 人	0 人
9 月 19 日（火） 10:00～12:30	環境事業所	6 人	0 人
2 月 20 日（火） 10:00～11:30	環境交流センター	11 人	0 人
合計	4 回	31 人	1 人

※1 月 11 日（木）にも実施したが、センターから出席できなかったため記載を省略

【子ども服リユースのイベント】

期間等	内容	場所	参加者数
6 月 6 日（火）～ 11 日（日） 6 月 14 日（水）～ 21 日（水）	【おゆずりぐるり】 6 日（火）～回収 約 5,000 着回収 14 日（水）～無償配布 約 3,900 着配布	環境交流センター	398 人
10 月 14 日（土）～ 22 日（日）	【おゆずりぐるり】 約 1,200 着保有・確保 （うち 230 着は家庭ごみ事業課の制度） 約 2,200 着回収、約 2,300 着配布 関連イベントの実施 ・コトコト交換マルシェ（15 日（日）） ・赤ちゃんのハイハイレース（17 日（火）） ・大人服の交換会（17 日（火）～20 日（金））	環境交流センター	401 人
10 月 28 日（土） 10:00～12:00	【みんなあつまれ わくわくランド】 子ども服 約 300 着配布、約 100 着回収	千里体育館	170 人
10 月 29 日（日） 10:00～15:00	【おゆずりぐるり in 蛍池】 子ども服 約 30 着配布、約 40 着回収	くつろぎ音楽教室	12 人
合計	4 回		981 人

※いずれも（一社）ソーシャルギルドとの共催、協力により実施

※参加者数はいずれも協力団体の関係者やボランティアスタッフを含む

※6月の参加者数は無償配布のみ、

10月の参加者数は、同じスペースで実施した大人服は含むが、その他の関連イベントは含まない

10月の外部での実施はイベントへのブース出展のため、ブースでの参加者のみ



⑰豊中市市民公益活動団体への支援

2023年1月末に豊中駅構内の市民活動情報サロンが閉鎖し、2023年2月からは庄内コラボセンター内に市民公益活動支援センターが開設されました。これに対して、市民活動情報サロンを利用していた市民公益活動団体の活動場所についての課題が残されています。そこで、豊中市に登録している市民公益活動団体を対象に、2023年6月から施設の会議室を指定の日時にミーティング等で利用できるような支援を開始しました。実施に際しては、市民公益活動支援センターの運営を受託しているとよなかESDネットワークと連携し、対象の団体が施設を利用することを通して、市民同士の交流を促進するとともに、環境以外の分野で活動する市民等との交流や連携の機会としました。

日時	利用者数	日時	利用者数
6月8日(木) 13:00～17:00	0人	11月4日(土) 13:00～17:00	0人
6月28日(水) 9:00～17:00	0人	11月9日(木) 9:00～17:00	0人
7月1日(土) 13:00～17:00	0人	11月22日(水) 9:00～17:00	0人
7月13日(木) 9:00～17:00	0人	12月14日(木) 9:00～17:00	0人
7月26日(水) 9:00～17:00	0人	12月27日(水) 9:00～17:00	0人
8月10日(木) 9:00～17:00	6人	1月6日(土) 13:00～17:00	0人
8月23日(水) 9:00～17:00	3人	1月11日(木) 9:00～17:00	0人
9月2日(土) 13:00～17:00	0人	1月24日(水) 9:00～17:00	0人
9月14日(木) 9:00～17:00	0人	2月8日(木) 9:00～17:00	0人
9月27日(水) 9:00～17:00	0人	2月28日(水) 9:00～17:00	0人
10月12日(木) 9:00～17:00	1人	3月2日(土) 13:00～17:00	0人
10月25日(水) 9:00～17:00	1人	3月14日(木) 9:00～17:00	0人
		3月27日(水) 9:00～17:00	0人
		合計	11人

※原則として、第2木曜の全日、第4水曜の全日、奇数月の第1土曜の午後に設定(初日は午後のみ)

⑱出張回収コーナー

施設で回収している物品のうち、陶器や子ども服などは持ち込みのニーズが高く、豊中市内の各地から自家用車等で運んでくる市民が多い状況です。そこで、当施設とは別に、それらの物品を出張して回収する機会を設けることで、市民のリユースと資源の循環を促進します。

第3期から初めての取組みとなるため、2023年度は外部でのイベントなどにあわせて実施しました。

期間等	内容	場所	参加者数
9月21日(木) 10:00～12:00	陶器の食器の回収と配布、子ども服の回収 種まきシアターとセットで実施	ライブカフェアレサ	5人
9月30日(土) 10:00～12:00	陶器の食器の回収と配布、子ども服の回収 種まきシアターとセットで実施	カフェサパナ	2人
10月13日(金)～ 26日(木)	子ども服の回収 子ども服 約1,100着回収	千里体育館	—

※9月21日は全員が、9月30日は1人が種まきシアターの参加者

※10月の子ども服回収は回収箱の設置のみのため、参加人数は不明



⑨市民向け地球温暖化対策事業との連携

市民向け地球温暖化対策事業について、2022年度までは当団体が毎年度ごとに受託し、施設を利用して実施する取組みは、自主事業として整理を行ってきました。第3期から新たに仕様書に含まれたものの、2023年度は当団体が引き続き受託したことから、2022年度までと同様に自主事業として整理し、指定管理事業としての連携はありませんでした。

⑩ファンクラブ制度の代替取組み

施設に愛着を感じ、施設を応援してもらうためファンクラブ制度を運用してきましたが、これまでで一定の役割を果たしたことから2022年度末で終了しました。その一方で、ファンクラブメンバーに提供していたポイントカードの配布やイベント等の情報提供、メンバーの交流企画などは引き続き実施し、参加者に不利益にならないように配慮します。

そこで、2023年度は市民の交流カフェを引き続き開催するとともに、これまでのファンクラブメンバーに対して、メールマガジン(毎月)や郵送(年1回)によりセンターのイベント等の案内を行いました。また、2022年度までのファンクラブメンバーに対して終了と代替取組みの案内も行いました。

【市民の交流カフェ】

日時	内容	参加者数
3月8日(金) 10:00～12:00	おしゃべり交流カフェ	5人



⑫開設 10 周年記念イベント

2013 年 4 月に、施設の開設記念イベントを開催し、近隣の市民に施設を知ってもらい、気軽に入ってもらえる施設であることを PR しました。2022 年度末で開設から丸 10 年を経過することから、2023 年度は開設 10 周年記念イベントを開催し、当団体から多くの市民の利用に感謝する企画を実施するとともに、第 3 期のキックオフとして当施設をさらに PR していく機会としました。

日時	内容	参加者数
5 月 21 日（日） 10:00～14:00	環境交流センターオープン 10 周年記念イベント 主な内容（順不同） ・リサイクル工作 ・自然工作 ・植物はおもしろい（顕微鏡で観察・スケッチなど） ・豊中市内の事業者に関する SDGs クイズ ・おはなし会 ・とよっぴー野菜の販売 ・自転車発電 ・豊中おやつ宣言のおやつ販売	145 人

※参加者数は当団体の会員や関係団体のスタッフを含む



○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していなかったものの、リユースコーナーとあわせて、豊中市伊丹市クリーンランドと連携した取組みを実施しました。

日時	内容	参加者数
7 月 2 日（日） 13:00～14:00	クリーンランド市民講座（ひょうたん飾り作り）	17 人
7 月 2 日（日） 12:45～13:00 13:40～14:00	クリーンランド出前講座	22 人

※参加者数はクリーンランド関係のスタッフを含む



<成果や工夫したこと>

- ・⑭施設間連携の企画（とよなかシネコン）では、参加施設で事前と事後に企画の打合せを行っており、そこで当団体からマチカネポイントの付与について提案を行いました。また、マチカネポイントのQRコードによる付与の対応について、当団体は他の委託事業で得たノウハウがあることから、参加施設で集まる機会を設けて、当団体から各施設へレクチャーしました。
- ・⑩子ども服の回収・配布では、センターでの実施に際して、準備の際の子ども服の仕分けと設置作業、片付けの際の子ども服の梱包などについて、共催した（一社）ソーシャルギルドを通じて就労支援の若者にも協力してもらいました。また、子ども服リユースの意見交換会に参加している他の複数の団体にも準備・片付けや開催期間中のスタッフ等で協力を得ました。さらに、残った子ども服は北条たんぽぽの会（子ども食堂や子ども服の配布などを実施している団体）にも提供しました。
- ・⑯子ども服の回収・配布では、10月の環境交流センターでの開催にあわせて、さまざまな団体・事業者とも連携し、コトコト交換、赤ちゃんのハイハイレース、大人服の回収などを関連イベントとして実施しました。
- ・⑱出張回収コーナーでは、千里体育館に子ども服の回収ボックスを設置し、体育館の教室利用者にもチラシ配布などの協力も得て、2週間で1,000着以上の子ども服が集まりました。回収した子ども服は、千里体育館で実施の「みんなあつまれ わくわくランド」で配布し、残った子ども服は蛍池公民館、家庭ごみ事業課、子ども服リユースの意見交換会に参加している団体などに提供しました。
- ・⑲出張回収コーナーでは、⑫ロハスな映画の上映の一環として地域で実施した「種まきシアター」にあわせて実施し、陶器の食器と子ども服の回収を行いました。また、陶器の食器は環境交流センターの設置分を一部持参して持ち帰りできるようにし、出張での循環にも取り組みました

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・④リユースコーナーについて、6月開催分での盗難を受けて、今後はその場でバッグなどに入れられないような大きさのリユース品の展示を連携先へお願いするとともに、展示場所に防犯カメラを設置している旨がわかるように表示することで、抑止力を高めていくことが考えられます。
- ・⑫ロハスな映画の上映のちょっとロハスな映画祭や、⑭施設間連携の企画（とよなかシネコン）は、普段は見られない内容の上映であり、また、センターにとっても普段とは異なる層の来館者が見込める機会ですが、2023年度はいずれも参加者が少ない結果でした。今後の開催では、広報の拡充などが必要と考えられます。
- ・⑰豊中市市民公益活動団体への支援について、環境以外の分野で活動する市民等との交流や連携の機会として企画・実施したものの、対象の団体への周知があまり広がらず、2023年度の利用が限定的でした。今後は、市民公益活動支援センターの運営を受託しているとよなかESDネットワークと連携して周知を充実させるとともに、対象の団体が利用しやすい方法へと見直すことが考えられます。

（２）地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供

施設における情報の収集・提供は、第３期の施設運営の方向性のうち、「芽を育てながら、新しい種をまく（交流のアップデート）」として、SNSでの発信などを通して情報の広がりなどの新しい種をまくことをめざして実施しました。

また、環境ギャラリー、図書などの閲覧・貸出しなどは、多様な団体と連携や、専門性を持った当団体の会員、地域の市民の協力を得て、情報の収集・提供を継続しました。

①ホームページの運営

オリジナルのドメインによる、施設のホームページを管理し、施設・行事・環境情報などを発信しました。また、スタッフブログも活用し、情報発信を行いました。

2023年度のホームページのアクセス数は、24,969 ページビューで、2022年度の23,997 ページビューから増加しました。

	投稿数	アクセス数
ホームページ	—	24,969（ページビュー）
ブログ	8 件	—

※ページビュー：WEB ページ内のページを見た合計数（1 人が複数回見たら重複カウント）

※ホームページアドレス <https://kankyokoryu.jp/>

ブログアドレス <http://staffblog.kankyokoryu.jp/>



②動画の制作

施設について、より多くの人に知ってもらうため、施設を紹介する動画を新たに作成し、Youtube を通じて公開し、センターのホームページからも閲覧できるようにしました。

内容	公開日
紹介動画「豊中市立環境交流センターって、何だろう？」	3 月 31 日（日）



③SNS を活用した発信の拡充

2020 年度に実施された施設の指定管理者選定評価委員会の評価結果（中間評価）にて、施設の認知度を高め、実施事業を広く広報するため、SNS 等を活用した多様な手法による周知が必要との評価を受けて、2021 年 7 月から Twitter と Facebook の運用を開始しました。これらの SNS を使用し、2023 年度も情報の発信を行いました。

2023 年度末のフォロワー数は Twitter が 266 人、Facebook が 152 人で、2022 年度末の 192 人と 112 人からそれぞれ増加しました。また、Twitter、Facebook とともに投稿数は 2022 年度の 520 件と 295 件から減少しましたが、アクセス数は 2022 年度の 89,057（インプレッション）、4,848（リーチ）からそれぞれ増加しました。

	投稿数	アクセス数	フォロワー数
Twitter	335 件	126,426（インプレッション）	266 人
Facebook	58 件	6,267（リーチ）	152 人

※フォロワー数は 2023 年 3 月 31 日現在

※インプレッション：各投稿を閲覧した回数の合計（1 つの投稿を 1 人が複数回見たら重複カウント）

リーチ：各投稿を閲覧した回数の合計（1 つの投稿を 1 人が複数回見ても 1 カウントのみ）

※Twitter アドレス <https://twitter.com/kankyokoryu>

Facebook アドレス <https://www.facebook.com/kankyokoryu>



④環境交流センターのおしらせ

センターの行事や案内を、「環境交流センターのおしらせ」としてチラシにまとめて毎月発行し、センター内での掲示や来場者への配布を行うとともに、環境交流センターのホームページでも公開しました。

また、おしらせの内容について、毎月メールマガジンを発行しました。2022 年度まではファンクラブメンバーを対象にしていたが、ファンクラブ制度の終了に伴い、2023 年度からは広く希望者に配信することとしました。さらに、お知らせに掲載している内容は、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信・掲載を通して広く周知しました。

【メールマガジンの配信数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
配信数	304	301	301	301	299	299	299	299	298	298	290	290



⑤リーフレットの作成・配布

第3期の開始に合わせて、2023年度はセンターの紹介リーフレットをリニューアルしました。



⑥地域イベント等での施設 PR

より多くの市民に施設のことを知ってもらうことができるように、第3期からは地域や公共施設で開催されているイベント等において、施設のPRを行います。

2023年度はPRのためののぼり旗等の物品を準備しました。また、要請のあったいくつかの行事にてセンターの取組みを紹介しました。

日時	内容	場所	参加者数
9月11日(月)～ 12日(火) 10:00～18:00	廃棄物資源循環学会でのパネル展示 (センターでの3Rの取組みについて紹介)	大阪工業大学	17人
2月7日(水) 19:00～20:00	廃棄物資源循環学会 消費者市民研究部会での話題提供 (センターでの3Rの取組みについて紹介)	オンライン	16人
2月22日(木) 13:15～17:00	びんリユース地域交流会 in 大阪での事例紹介 (センターでのリユースビンの飲料の取組みについて紹介)	エル大阪	72人
合計	3回		105人



⑦メディア等への情報提供

これまでも施設の取組みについて、FM 千里（コミュニティ FM のラジオ局）の生放送、ケーブルテレビ（J:COM）の取材、「TNN 豊中報道。2」への紹介など、メディアの取材や対応を行ってきました。また、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」など、民間のイベント告知ページへもイベント情報の掲載を行ってきました。2023 年度も引き続き、メディア等への情報提供を行いました。

⑧デジタルサイネージの取組み

2020 年度に実施された施設の指定管理者選定評価委員会の評価結果（中間評価）にて、施設の目的が理解されやすいような表示の工夫が必要との評価を受けました。そこで、2021 年度からは施設前の通行者に対して、豊中市が導入した大型モニターを活用して、デジタルサイネージのような発信を一定期間試行してきました。

2023 年度はデジタルサイネージの取組みを継続し、施設前の通行者に向けて、イベントの告知等の発信を行いました。

⑨環境ギャラリー

環境交流センターの展示スペースを活用し、環境にまつわる展示を行っています。2023 年度も指定管理事業に関するものや、豊中の自然をテーマとしたものなどを紹介しました。

期間	内容	団体
5 月 24 日（水）～ 6 月 1 日（木）	豊中の自然展「天竺川の生き物調査」	当団体の自然部会
7 月 5 日（水）～ 27 日（木）	エコアクションの図書展	—
1 月 4 日（木）～ 14 日（日）	春の七草展	当団体の自然部会
1 月 25 日（木）～ 2 月 24 日（土）	あの日を忘れない！～いのちと環境を守り、未来につなごう～	福島プロジェクト豊中



⑩図書などの閲覧・貸出し

環境に関する図書や資料を設置し、図書・資料室にて閲覧スペースを設けるとともに、利用者が希望する図書などについて、内規に基づき貸出しを行いました。さらに、閲覧・貸出しを促進するため、環境ギャラリーの一環として、図書をテーマとした展示も実施しました。

2023年度の貸出し件数は23件で、2022年度の24件と同程度でした。研修等への利用目的で、DVDの貸出しも含まれています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数	1	4	4	2	3	3	4	0	0	1	0	1	23件
貸出冊数	1	9	6	4	8	3	10	0	0	1	0	3	45冊

※図書をテーマとした展示は、(2) ⑨環境ギャラリーに記載



⑪地域との連携強化

センターがある南桜塚校区の地域自治組織（南桜塚校区地域連絡協議会）に2018年4月の総会から当団体として正式に加盟しています。協議会の一員としての役割を果たすことを通じて、地元地域との連携を強化し、地域でのセンターの理解向上へとつなげていくことをめざして参加したものです。なお、協議会の加盟団体は、部会活動に参加することとなっており、引き続き防災部会に参加するとともに、2023年度は防災部会の副部会長を務めました。

また、豊中市社会福祉協議会の地域福祉ネットワーク会議への参加を通じて、センターの機能を紹介するとともに、豊中市内の地域団体とのつながりを拡げることをめざしました。

【南桜塚校区地域連絡協議会】

項目	日時	内容	場所
全体	4月30日（日）19:00～20:00	総会	南桜塚会館
	1月14日（日）18:00～20:00	新年互例会	ホテルアイボリー
	7月29日（土）19:00～20:00	運営委員会	南桜塚会館
	10月29日（日）19:00～20:00		
	12月2日（土）19:00～20:00		
	3月24日（日）19:00～20:00		
	7月29日（土）18:00～19:00	役員事務局各部長副部会長会議	南桜塚会館
	9月22日（金）19:00～20:00		
	10月29日（日）18:00～19:00		
	12月2日（土）18:00～19:00		
	3月24日（日）18:00～19:00		

防災部会	5月19日（金）19:30～20:00 7月22日（土）19:30～21:00 9月15日（金）19:30～21:00 10月27日（金）19:30～21:00 1月19日（金）19:30～21:00 3月16日（土）19:30～21:00	防災部会	南桜塚会館
	9月9日（土）9:15～15:30	防災セミナー	大阪市立阿倍野防災センター
	11月23日（祝）10:00～13:00	防災訓練	南桜塚小学校
	1月20日（土）8:45～11:00	全市一斉防災訓練	南桜塚小学校
防犯部会	10月4日（水）15:00～16:00	子ども見守り活動隊	下原公園
	3月6日（水）15:00～16:00		大塚公園

※協議会活動のうち、参加・出席したものを記載



【地域福祉ネットワーク会議】

月日	エリア	場所
7月13日（木）14:00～16:00	中部	地域共生センター
7月14日（金）14:00～16:00	中西部	中央公民館
2月20日（火）14:00～16:00	中西部	すこやかプラザ
2月22日（木）14:00～16:00	中部	すこやかプラザ

⑫学生の環境活動の支援

学生からの要請を受けて、環境活動や論文・研究に関する相談に応じ、必要に応じて活動のサポートや情報提供などを行いました。

日時	内容
6月27日（火） 10:30～10:45	梅花女子大学の4年生（2人）が来館し、大学の課題として環境系の調べものをしてほしいとのこと。職員からセンターの取組みなどを説明

⑬ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出

環境分野における窓口対応として、質問票に対する回答があったごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出を実施します。豊中市環境部のうち走井にある各課の事業について、市民が現地までアクセスするのが難しいため、一部の対応を市役所本庁舎でも対応しています。

2023年度からは、市役所本庁舎でも対応している取組みについて、市民の利便性向上を目的とし、施設での同様の対応を行いました。

内容	件数
ごみカレンダーの配布（4月5日～）	3件
犬ふん看板等の貸出し（5月9日～）	1件



⑭施設内での情報提供

施設に寄せられた環境イベントや環境に関するチラシやポスターについて、施設内で配架や掲示による情報提供を行いました。また、来館や電話による、環境情報の問合せや検索に関して支援しました。

2023年度の相談件数は13件で、2022年度の28件から半減しました。相談内容は、ごみの分別や出し方、家庭で不用となった物品の対処方法や、環境行政の他部署への問合せに対する紹介などが多く、傾向としては従来から変わっていません。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談件数	2	0	1	3	1	0	1	1	0	2	1	1	13件

※センターの行事に関する問合せや当団体に対する問合せは含んでいない



<成果や工夫したこと>

- ・③SNSを活用した発信の拡充について、SNSの投稿をメインに対応するアルバイト職員が運用することで、アクセス数やフォロワー数は着実に増加しており、SNSでの情報発信も広がりつつあります。
- ・⑪地域との連携強化のうち、当団体も参加している南桜塚校区地域連絡協議会について、センターの総括責任者が運営委員として、防災部会に参加している。防災部会の部長・副部長は順番に担当するという考えもあり、2023年度からの2年間、センターの総括責任者が副部長となり、部会運営に関与しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・③SNS を活用した発信の拡充について、2023 年度の事業計画書の段階では、「豊中市が発信する環境情報についても SNS を使って発信する」としていましたが、そこまでの発信には至りませんでした。今後は、SNS を利用してこういった情報を発信していくかを検討していく必要があります。
- ・⑧デジタルサイネージの取組みについて、施設前の通行者に向けて、イベントの告知等の発信を行いました。特にアピールしたい行事等を中心とし、年間を通して開館日すべてで運用するには至りませんでした。今後は、日常的な発信も含めて、開館日すべてで運用できるように進めていきます。
- ・⑬ごみカレンダー配布・犬ふん看板等の貸出のうち、ごみカレンダーについては市役所本庁舎へもらいに行く人が多いことから、センターへの希望者も多くなると見込まれましたが、実際にはほとんど利用がありませんでした。センターでも希望者に配布していることを多くの市民が知らないと考えられるため、今後はもっと PR していく必要があります。

(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施

基本的な考え方に基づき、SDGsの内容を盛り込むことで、持続可能な地域をめざして取り組みました。一方的に話を聞くだけの座学はできるだけ避け、参加・体験を通して学ぶものや、講師や協力団体と一緒に考えていく取組みを主としました。

①「とよなかの環境」への意見募集の協力

豊中市の環境報告書「とよなかの環境」は、毎年夏頃に速報版を発行し、市民意見等を募集した後、その意見も反映・回答した最終版が翌年3月に発行されています。市民意見等については、豊中市により、市役所をはじめとした市内の公共施設で速報版の内容を展示し、意見募集を募っています。

2023年度は指定管理事業においてもゼロカーボンシティ推進課と連携し、センターで速報版の内容を展示し、訪れる市民に職員が呼びかけを行うなど、意見募集への協力を行いました。

期間	内容
10月18日(水)～21日(土) 9:00～17:00	「とよなかの環境」パネル展 アンケートの回収9枚

※18日(水)のみ11:00から開始

②地球温暖化対策につながる講座の開催

地球温暖化防止の推進として、市民を対象とした地球温暖化対策につながる講座を開催し、市民にとって身近なところから地球温暖化対策を実感してもらうことをめざしています。2022年度までは、市民向け地球温暖化対策事業にて同様の講座を開催していましたが、2023年度は指定管理事業として実施しました。

日時	内容	講師	参加者数
7月22日(土) 10:00～11:30	家のでんきを調べてみよう	山見拓さん((有)ひの やエコライフ研究所)	3人
11月26日(日) 13:00～15:30	窓断熱アイテム製作体験		12人

※参加者は講師、運営を補助した当団体の会員を含む



③自然観察会

地域の自然環境に親しんでもらうため、豊中市内の自然が残された場所で自然観察会を開催しました。

実施日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
5月10日(水) 10:00～12:00	春の自然観察会	都市緑化植物園	13人	0人	4人
7月29日(土) 9:30～11:30	千里川の水生生物観察会	千里川	19人	16人	9人
9月15日(金) 18:00～20:00	秋の夜の鳴く虫観察会	服部緑地	13人	12人	6人
2月3日(土) 9:30～12:00	冬の野鳥観察会	服部緑地	23人	4人	9人
合計	4回		68人	32人	28人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



④自然学習講座

豊中の自然環境の現状や保全についての理解を深めるため、学識者や研究者を講師に迎え、学習講座を開催しました。なお、講座は他の施設も利用して実施するなど、多くの市民が参加できるような機会作りを行いました。

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
1月20日(土) 14:00～16:00	どっこい住んでいる豊中のキツネ	大谷洋介さん（大阪大学准教授）	庄内公民館	21人	3人
2月17日(土) 14:00～16:00	生態系豊かな森作りをめざして	常俊容子さん（大阪自然環境保全協会）	旧千里少年文化館	21人	3人
3月31日(日) 14:00～16:00	チリメンモンスターからわかる海の環境	柏尾翔さん（きしわだ自然資料館学芸員）	庄内コラボセンター	22人	3人
合計	3回			64人	9人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

⑤自然ふしぎ発見クラブ

5歳から小学生と、その保護者を対象に、豊中の自然にふれあい、五感を使った自然体験の場として開催しました。

実施日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月9日（日） 10:00～12:00	阪急電鉄牛立跨道橋から郷土資料館	庄内駅～牛立跨道橋～郷土資料館	1人	4人	4人
4月16日（日） 9:30～12:00	竹のふしぎ発見と地下茎の観察	千里中央公園	26人	22人	8人
6月18日（日） 10:00～12:00	豊島北ビオトープの生き物調べ	ふれあい緑地	9人	9人	5人
7月30日（土） 18:30～20:30	公園でセミの羽化観察会	千里中央公園	18人	21人	5人
9月24日（日） 9:30～12:00	バッタなど秋の虫観察会	服部緑地	18人	20人	4人
11月6日（土） 10:00～12:00	冬の公園で自然観察と七草がゆの試食	くらしかん	7人	5人	5人
合計	6回		79人	81人	31人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

※竹のふしぎ発見と地下茎の観察は雨天のため4月15日（土）から16日（日）に延期



⑥身近な生き物調査

自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然調査を実施しています。

2023年度は「セミのぬけがら」をテーマに、豊中市内全域で期間を定めて実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数
7月13日（木）	事前打合せ	環境交流センター	5人
7月15日（土） 14:00～16:30	調査説明会	環境交流センター	31人
7月22日（土）	第1回統一採取基準日	市内46地点	33人
8月19日（土）	第2回統一採取基準日	市内46地点	33人
9月16日（土）	第3回統一採取基準日	市内46地点	33人
8月26日（土）～ 10月13日（金）	ぬけがら同定会（3回）	環境交流センター	18人

1月17日（水）～ 3月14日（木）	結果まとめ作業、編集会議、冊子作成 （9回）	環境交流センター	51人
3月16日（土） 14:00～16:00	調査報告会	環境交流センター	11人
合計	18回		215人

※当団体の自然部会が実施

※調査員数 33人



⑦自然環境の保全活動

豊中市内に残された豊かな自然環境を残していくため、地域で取り組まれている保全活動を施設の事業とすることで、広く市民にも参加を呼びかけ、体験を通して自然保全への理解を深める取り組みです。

2023年度は、豊中の里地探訪として小曾根周辺の歴史環境と天竺川堤防のキリの花の観察や、猪名川自然林での保全活動の体験を行いました。

実施日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
4月10日（月） 9:30～12:00	豊中の里地探訪「浜・今西邸周辺から 天竺川堤防・花咲くキリの大樹」	服部天神駅～浜～天竺川	19人	5人
11月22日（水） 9:00～12:00	猪名川自然林の手入れと自然観察	猪名川自然林	4人	10人
合計	2回		23人	15人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



⑧暮らしやモノを考える講座

家庭の暮らしにつながる講座として、2023 年度は整理収納・布なぶきん・みどりのカーテンの 3 つのテーマを実施しました。

整理収納は、自分の暮らしにおける生活用品の適量を把握し、モノの手放し方を学ぶ機会とし、情報交換を通して主体的に学びあう場（サークル）を提供しています。半年間の連続講座として実施するとともに、サークルの卒業生を対象とした同窓会を継続しました。

布なぶきんは、受付で常設販売している布なぶきんの製作者を講師として、体に優しい手作り品を通してごみや体を考える機会として企画しましたが、参加者がいなかったため、親子ぐるぐるフェスの中であらためて実施しました。

みどりのカーテンは、緑化による省エネの推進として、花とみどりの相談所や豊中緑化リーダー会、豊中みどりの交流会などと連携し、ゴーヤの栽培に関する講習会を開催しました。

【整理収納サークル】

月日	内容	講師	参加者数	一時保育
5月17日	上半期（連続講座）	尾山敬子さん （整理収納アドバイザー）	8人	0人
6月21日			6人	0人
7月19日			5人	0人
8月9日	同窓会		9人	0人
9月20日	上半期（連続講座）		4人	0人
10月18日			5人	0人
11月15日	下半期（連続講座）		4人	0人
12月20日			4人	0人
1月17日			4人	0人
2月21日			4人	0人
3月13日			4人	0人
合計	10回		57人	0人

※いずれも水曜の 10:00～12:00 で実施

※通常、連続講座の初回のみ 9:30～新参加者へ事前説明を行っており、5 月 17 日は新参加者のみであったため、10:00～事前説明も含めて実施（11 月 15 日は 9:30～事前説明を実施）

※参加者数は講師を含む

※12 月 20 日は一時保育の利用希望があったが、当日に一時保育のみドタキャンしたため、一時保育料を徴収するとともに、保育者に謝礼金の一部を支払った



【布なぷきん】

日時	内容	参加者数
1月21日（日） 13:00～15:30	からだと環境にやさしい布なぷきん作り （親子ぐるぐるフェスにて実施）	2人

※当初は11月30日（木）に予定したが、参加者がいないため実施せず

※当初の開催、親子ぐるぐるフェスともに、外部の講師を予定していたが、親子ぐるぐるフェス当日に講師が体調不良で欠席となったため、当団体職員が代理を務めた



【みどりのカーテン】

日時	内容	講師	参加者数
6月8日（木） 10:00～11:30	ゴーヤで緑のカーテン作り	豊中みどりの交流会 豊中緑化リーダー会	6人

※参加者数は講師や市職員を含む



⑨アップサイクル体験講座

第2期まではリサイクル工作という名称で、参加者の交流も含めて実施してきましたが、「リサイクル」の要素が少なかったため、第3期からは「アップサイクル」を打ち出して開催しました。

講座では家庭の不用品や身近な材料を利用し、暮らしを便利にするような手作り工作を中心とし、講座の一部は、豊中市内で活動する他団体の方を講師として招いて実施しました。

日時	内容	講師	参加者数
7月28日（金） 13:00～14:00 15:00～16:00	紙すきではがき作り	当団体職員	17人

10月3日(火) 10:00～15:00	世界にひとつのエコバッグ作り	吉田まち子さん	10人
10月20日(金) 11:00～11:45	子ども服をすてきにアップサイクル	USAGIGUMOさん	2人
合計	3回		29人

※参加者数は外部の講師を含む

※10月20日の子ども服のアップサイクルは、10:00～10:45も実施予定であったが、参加者がいなかったため実施がなかった



⑩サイエンスカフェ

科学・化学実験や科学・化学にまつわる話題を通して、環境問題や生活とのつながりについて考える場を作りました。多様な世代が考える機会を作るため、2023年度は親子対象と大人対象の両方を実施しました。なお、夏休みに施設外で子ども対象の企画も検討しましたが、受け入れ先との調整や参加者確保の関係から、実施を見送りました。

日時	対象	内容	講師	参加者数
2月18日(日) 10:00～11:30	親子	もみ殻生まれのバスボムを作ろう	八馬尚子さん (8Cもみ殻シリカ普及協会)	24人
2月27日(火) 10:00～12:00	大人	身体と環境にやさしい スキンケア講座	稲葉結さん (美容サロンの代表)	4人
合計		2回		55人

※参加者数は講師を含む



⑪SDGs をテーマとした連続講座

第1期・第2期に実施していた ESD セミナーを終了し、第3期からは SDGs の推進を目的とした連続講座を開催します。講座では、まち歩きや地域で活躍するキーパーソンへのヒアリング、マップ作りを通して、SDGs につながる地域の多様な魅力や資源を知るとともに、参加者に講座への参加を通して SDGs につながる気づきを得てもらう機会としました。また、参加者が SDGs の取組みを実践する新たな担い手となっていくことも視野に入れて実施しました。

阪急宝塚沿線の駅周辺をテーマに、NPO 法人とよなか ESD ネットワークの協力を得て、2023 年度は服部天神駅周辺で連続講座を開催しました。

【地元を極め隊！～服部天神駅編～】

日時	内容	場所	参加者数
2月25日(日) 14:00～16:00	服部天神駅周辺を知ろう！（まち歩き）	喫茶ピーコック ほか	17人
3月10日(日) 14:00～16:00	服部天神駅周辺を見てみよう！（ヒアリング）	喫茶ピーコック ほか	14人
3月24日(日) 14:00～16:00	服部天神駅周辺の魅力 MAP を作ろう！（マップ作り）	服部会館	11人
合計	3回		42人

※参加者数はゲストや協力団体の関係者を含む



⑫ぴったんこ隊

小学1年生～4年生を対象に、世界や地域の環境を考えることをテーマとした、参加・体験型の連続講座を実施しました。講座は大阪大学環境サークル GECS が主体となってプログラムを実施し、施設は広報や参加者、見学先などとの調整を担います。また、講座の開催を通じて、大学生の環境活動の場を提供し、助言などを通して大学生の成長を支援します。

2023 年度は、夏休みと春休みにそれぞれ 3 回の連続講座として開催するとともに、過去の参加者を対象に同窓会企画を実施しました。

日時	テーマ	内容	場所	参加者数
8月17日(木) 14:00～16:00	食	たべものはどうやってつくられる？	環境交流センター	22人
8月18日(金) 14:00～16:00		チヂミをつくってみよう！	中央公民館	17人
8月19日(土) 14:00～16:00		環境にやさしい食生活ってなあに？	環境交流センター	27人

10月9日(祝) 9:00～14:30		ぴったんこ隊 mini 同窓会	大阪ガスハグミュージアム	22人
3月27日(水) 14:00～16:00	服	服の3Rってなに？	環境交流センター	25人
3月28日(木) 14:00～16:00		服の一生をみてみよう	環境交流センター	17人
3月29日(金) 14:00～16:00		服をめぐる社会問題と私たちにできること	環境交流センター	21人
合計	7回			151人

※参加者数は大学生のスタッフなどを含む（見学の保護者は含まない）

※小学生の参加登録者数は8月が5人、10月（同窓会）が5人、3月が7人



⑬ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り

小学生とその保護者を対象にした参加・体験型の連続講座で、ジャガイモの植え付け・手入れ・収穫を体験し、収穫したジャガイモを使って無添加のコロッケ作りを行いました。コロッケ作りは、当団体の会員で、2021年度に豊中エコ市民賞を受賞したコロッケの専門メーカー、合同食品（株）の協力を得て、同社のキッチンスタジオにて実施し、この事業への参加を通して、食の安全安心と地産地消への理解を深める機会としました。

【じゃがいもの栽培とコロッケ作り体験】

日時	内容	場所	参加者数
8月26日(土) 10:00～11:30	たべものはどうやってつくられる？	緑と食品のリサイクルプラザ	24人
9月30日(土) 10:00～11:30	チヂミをつくってみよう！	緑と食品のリサイクルプラザ	19人
11月25日(土) 10:00～13:30	環境にやさしい食生活ってなあに？	緑と食品のリサイクルプラザ～合同食品	27人
合計	3回		70人

※当団体の花と緑のネットワークが実施・協力

※参加者数は花と緑のネットワークのメンバー、合同食品の関係者などを含む

※参加登録者数は親子6組14人



⑭能勢町での里山体験イベント

第3期では、豊中市内の子ども、または親子を対象とし、豊中市が森林環境保全に関する自治体間連携協定を締結した能勢町での里山体験を実施します。

2023年度は豊中市青少年野外活動センターわっばる（能勢町）を活用し、わっばるの指定管理者である豊中市青少年野外活動協会と連携した小学生対象の日帰り企画を開催しました。また、小学生の引率や対応は、大阪大学環境サークル GECS に協力を得ました。

日時	内容	場所	参加者数
12月3日（日） 8:45～17:30	わっばるの森で自然体験	青少年野外活動センター わっばる	37人

※参加者数は大学生や当団体のスタッフを含む



⑮能勢産材を使った物品の展示・販売

能勢町との協定締結を踏まえて、豊中市が能勢産材のテーブルやおもちゃ等を施設内に順次導入していることから、SNSや動画制作などを通して導入された能勢産材の製品をPRしました。

また、能勢産材を使って製作された小物類の購入・展示等について、検討を進めました。



＜成果や工夫したこと＞

- ・⑪SDGs をテーマとした連続講座について、センターの第 1 期・第 2 期で実施していた ESD セミナーを終了し、第 3 期から SDGs の推進を目的として企画しました。連続講座「地元を極め隊！～服部天神駅編～」と題して、まち歩きや地域で活躍するキーパーソンへのヒアリング、マップ作りを通して、SDGs につながる地域の多様な魅力や資源を知るとともに、参加者に講座への参加を通して SDGs につながる気づきを得てもらう機会としました。また、喫茶店や地区会館などを会場とし、会場提供も含めて地域の関係者と連携して実施しました。
- ・⑫SDGs をテーマとした連続講座について、2023 年度の事業計画書の段階では、座学を中心とした連続講座での実施と、「とよなか地域創生塾」を参考に、連続講座の参加者でグループを作り、グループのメンバーで考えた企画を実践する方向で考えていました。しかし、企画を進める中で、SDGs をテーマとした座学は各地で実施されていることや、「とよなか地域創生塾」も受託者が変更して方針が大きく変わり今後の参考とするのが難しいと判断したため、前述のような内容に変更しました。
- ・⑬ぴったんこ隊について、2023 年度は大阪ガスのハグミュージアムの利用や、制服・ユニフォームを作っている（株）チクマを講師にするなど、事業者と連携して企画を実施しました。事業者と連携したことで、普段は内容を企画・制作する大阪大学環境サークル GECS のメンバーにとっても、新たな知識を理解する学びの機会となりました。
- ・⑭ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作りについて、自分たちで育てたジャガイモを収穫し、そのジャガイモを使って自分たちでコロッケを作るという、農体験と食育をセットにした企画を初めて実施しました。当団体の市民活動として構想があったものの、収穫場所からコロッケ作りの場所への移動に課題があり実現に至っていませんでしたが、この度、指定管理事業としてマイクロバスを手配するとともに、当団体の理事でもあるコロッケの専門メーカー、合同食品（株）の協力を得て実現することができました。
- ・⑮能勢町での里山体験イベントでは、豊中市立青少年自然の家わっぱるでの自然体験を企画し、プログラムの実施については豊中市青少年野外活動協会（わっぱるの指定管理者）、小学生の対応などについて大阪大学環境サークル GECS の協力を得ました。また、環境交流センターとしては初めて市内の全小学生にチラシを配布したところ、定員 30 人のところに約 280 人の応募がありました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・①「とよなかの環境」への意見募集の協力について、最も多くの来館者が見込まれる、子ども服リユースの回収・配布の期間にあわせて実施したものの、子ども服の利用者が多く、当団体の職員が子ども服に多くの労力を割くことになってしまい、結果的に意見募集への働きかけがあまりできず、アンケートの回収枚数が少なくなっていました。今後は、多くの意見を集めることができるように、意見募集を行うタイミングや働きかけの体制作りが必要です。
- ・⑤自然ふしぎ発見クラブのうち、竹のふしぎ発見と地下茎の観察を実施した 4 月 16 日（日）に、会場となった千里中央公園内のごみ箱にタケノコの皮が大量に捨てられていました。ごみ箱からあふれているということではなかったものの、今後の開催では参加者に注意喚起することを、公園みどり推進課や管理業務を行っているシルバー人材センターの責任者と確認しました。
- ・⑫ぴったんこ隊について、2023 年度に実施したすべての回で小学生の参加登録者数が少ない状況でした。特に、近隣の複数の小学校へチラシを配架しているものの、チラシの効果がほとんどありませんでした。⑭能勢町での里山体験イベントでは、チラシの効果が想定以上にあったことを参考に、チラシを含めた広報について見直していくことが考えられます。

（４）地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供

地球環境の保全等を推進するため、市民・団体・事業者に施設貸出を行うとともに、環境活動を支援する取り組みを行います。

①施設でのイベント掲示板の設置

施設を利用して市民や団体が実施する環境イベント等について、チラシ等を貼ることができる専用の掲示板を設置して、来場者への PR を促進しました。



②コピー、大型プリンター等の利用

コピー、大型プリンター、印刷機の利用を有料で提供しました。紙折り機の利用は無料で、2023 年 6 月半ばから再開しました。コピーは、打合せや貸室の利便性向上を主たる目的とし、大型プリンターや印刷機、紙折り機は、環境活動のサポートはもとより、地域の多様な取組みに利用することができるため、施設への来場のきっかけとしても活用しました。

2023 年度は、2022 年度と比べて、コピーと大型プリンターの利用が増加し、印刷機の利用が減少しました（コピー64 件→75 件、大型プリンター31 件→43 件、印刷機 45 件→32 件）。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
コピー	8	5	8	4	2	9	7	8	6	5	6	7	75 件
大型プリンター	3	2	8	2	3	0	6	6	4	5	3	1	43 件
印刷機	3	4	1	2	3	1	2	2	1	5	3	5	32 件

※各月の数字は利用件数

※紙折り機は無料のため、利用件数をカウントしていない



③打合せなどに伴う物品の貸出し

ロビーや会議室で打合せや作業を行う際、円滑に進めることができるように、関連する物品などを提供しました。

- ・裁断機
- ・ラミネーター（ラミネートフィルムは希望者に有料）
- ・貸傘
- ・リユースカップ（会議室の利用時など）



(5) その他

①回収拠点

リユース・リサイクルのための回収拠点として、以下の物品を回収しました。なお、ベルマークは南桜塚小学校 PTA、傘はそね 21 の会と連携しています。

回収品	対象	対応
ペットボトル	主に他へ提供する物品	豊中市の委託先が週 2 回程度回収
インクカートリッジ		豊中市のインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして実施 7 月 12 日（水）、2 月 27 日（火）に各 1 箱を回収先へ送付
小型家電		豊中市が 2 週間に 1 回程度回収
蛍光灯・電池類		豊中市が 2 週間に 1 回程度回収
ベルマーク		回収したベルマークを地域へ提供 10 月 20 日（金）に南桜塚小 PTA へ提供
傘	主にセンターで活用する物品	貸し傘用として利用 2023 年度は団体への提供実績なし



○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、事業者と連携して、事業者で余ったカレンダーの無料配布を行いました。

期間	内容
1 月 5 日（金）～ 10 日（水）	カレンダーの無料配布 約 50 点
1 月 23 日（火）～ 31 日（水）	カレンダーの無料配布 約 60 点

※提供：ネットトヨタニューリー北大阪、豊中市小売商業団体連合会

4. 施設の利用状況

センターの 2023 年度の利用者数（センターの来場者数＋センター外での行事等の参加者数＋オンラインでの行事等の参加者数）は 17,520 人で、確保すべきサービスレベルの 17,000 人を上回りました。内訳は、来館者数が 16,540 人で、行事等の参加者数が館外と WEB をあわせて 980 人でした。2022 年度の来館者数は 15,763 人で 777 人増加しました。行事等の参加者数は不用品交換コミュニティボードの参加者数などの一部のカウント方法が異なるものの、2022 年度の 554 人から約 1.8 倍増加しました。

2023 年度の稼働率は 61.5% で、2022 年度の稼働率 69.9% から減少したものの、引き続き高い稼働率を維持しています。内訳をみると、会議室 1（70.5%→68.6%）・会議室 2（56.5%→52.8%）・展示スペース（82.8%→63.1%）となって、特に展示スペースの稼働率が減少しました。

2023 年度の会議室の利用件数は 444 件で、2022 年度の 480 件から減少しました。しかし、2021 年度の 434 件よりは上回っています。

①利用者数（来館者数・館外及び WEB 行事等の参加者数）

	来館者数	行事等の参加者数		合計
		館外	WEB	
4 月	1,150 人	90 人	0 人	1,240 人
5 月	1,324 人	20 人	0 人	1,344 人
6 月	2,106 人	28 人	0 人	2,134 人
7 月	1,199 人	95 人	0 人	1,294 人
8 月	1,599 人	42 人	0 人	1,641 人
9 月	1,141 人	144 人	0 人	1,285 人
10 月	1,579 人	200 人	0 人	1,779 人
11 月	1,291 人	44 人	0 人	1,335 人
12 月	1,384 人	55 人	0 人	1,439 人
1 月	1,136 人	44 人	0 人	1,180 人
2 月	1,356 人	151 人	16 人	1,523 人
3 月	1,275 人	51 人	0 人	1,326 人
年度通算	16,540 人	964 人	16 人	17,520 人

②来館者数

	一般	会議室等利用		合計	(参考) 昨年度
		環境目的	環境目的以外		
4 月	816 人	316 人	18 人	1,150 人	1,240 人
5 月	747 人	539 人	38 人	1,324 人	1,064 人
6 月	873 人	1,233 人	0 人	2,106 人	1,322 人
7 月	787 人	406 人	6 人	1,199 人	1,074 人
8 月	988 人	601 人	10 人	1,599 人	1,494 人
9 月	807 人	334 人	0 人	1,141 人	1,878 人
10 月	721 人	811 人	47 人	1,579 人	1,406 人
11 月	795 人	442 人	54 人	1,291 人	1,267 人
12 月	730 人	648 人	6 人	1,384 人	1,330 人
1 月	712 人	386 人	38 人	1,136 人	1,010 人
2 月	704 人	642 人	10 人	1,356 人	1,119 人
3 月	778 人	442 人	55 人	1,275 人	1,559 人
年度通算	9,458 人	6,800 人	282 人	16,540 人	15,763 人

③館外及び WEB 行事等の参加者数

事業名等	区分	人数	備考
不用品交換コミュニティボードの運営	館外	24 人	年間（センター外での実施分のみ）
自然工作	館外	17 人	1 回（センター外での実施分のみ）
種まきシアター	館外	25 人	2 回
子ども服の回収・配布（意見交換会）	館外	13 人	2 回（センター外での実施分のみ）
子ども服の回収・配布（イベント）	館外	182 人	2 回（センター外での実施分のみ）
出張回収コーナー	館外	1 人	1 回（他と重複していない人数分）
地域イベント等での施設 PR	館外	89 人	2 回
	WEB	16 人	1 回
自然観察会	館外	128 人	4 回
自然学習講座	館外	73 人	3 回
自然ふしぎ発見クラブ	館外	191 人	6 回
自然環境の保全活動	館外	38 人	2 回
SDGs をテーマとした連続講座	館外	42 人	3 回
びったんこ隊	館外	34 人	2 回（センター外の実施で来館者と重複していない分のみ）
ジャガイモの栽培・収穫とコロッケ作り	館外	70 人	3 回
能勢町での里山体験イベント	館外	37 人	1 回
合計		980 人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

④貸室の稼働率

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	(参考) 昨年度
4 月	53.8%	53.8%	7.7%	38.5%	76.9%
5 月	69.2%	46.2%	65.4%	60.3%	64.1%
6 月	80.8%	53.8%	100.0%	78.2%	74.4%
7 月	65.4%	30.8%	92.3%	62.8%	72.8%
8 月	55.6%	44.4%	77.8%	59.3%	67.9%
9 月	69.2%	42.3%	76.9%	62.8%	79.5%
10 月	76.9%	69.2%	38.5%	61.5%	75.6%
11 月	69.2%	53.8%	84.6%	69.2%	51.3%
12 月	70.8%	50.0%	29.2%	50.0%	65.3%
1 月	66.7%	62.5%	87.5%	72.2%	61.1%
2 月	64.0%	56.0%	88.0%	69.3%	75.0%
3 月	81.5%	70.4%	11.1%	54.3%	74.1%
年度通算	68.6%	52.8%	63.1%	61.5%	69.9%

⑤会議室等の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	32	36	31	37	38	36	41	41	35	34	32	51	444 件
貸室	32	36	31	37	38	36	41	41	35	34	32	51	444 件
指定	4	12	15	13	16	12	17	9	11	13	15	23	160 件
自主	0	1	0	0	0	3	1	1	2	0	0	0	8 件
環境	27	21	16	23	20	21	19	27	21	19	16	23	253 件
環境外	1	2	0	1	2	0	4	4	1	2	1	5	23 件
備品	7	14	10	14	13	14	12	9	14	11	10	12	140 件
指定	1	5	6	4	4	2	3	2	3	4	3	7	44 件
自主	0	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	6 件
環境	6	8	4	10	9	10	8	7	8	7	7	5	89 件
環境外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 件

⑥会議室等の収入実績

月	合計		現金		クレジットカード		庁内振替	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
4 月	1	2,900	1	2,900	0	0	0	0
5 月	1	1,100	0	0	0	0	1	1,100
6 月	1	900	0	0	1	900	0	0
7 月	0	0	0	0	0	0	0	0
8 月	2	2,100	1	1,200	0	0	1	900
9 月	1	900	0	0	1	900	0	0
10 月	7	16,400	4	8,600	0	0	3	7,800
11 月	5	6,800	3	3,200	2	3,600	0	0
12 月	2	4,000	1	1,800	0	0	1	2,200
1 月	1	1,100	1	1,100	0	0	0	0
2 月	3	4,400	3	4,400	0	0	0	0
3 月	2	2,100	1	1,200	1	900	0	0
合計	26	42,700	15	24,400	5	6,300	6	12,000

※業務報告書に記載の受付時の実績のため、納付一覧の内容等とは異なる

※2023 年度は還付請求がなかった

5. 管理運営業務に係る経費の収支状況

2023 年度 豊中市立環境交流センター指定管理業務 収支決算書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入						
項目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
指定管理委託料	21,505,000					
事業収入	354,763	50,600	0	138,550	0	165,613
収入合計	21,859,763					
支出						
科目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
人件費						
賃金手当	11,440,470					
通勤交通費	252,890					
法定福利費	1,961,403					
退職金共済制度掛金	416,000					
福利厚生費	18,064					
職員研修参加費	0					
賃金振込手数料	31,515					
人件費計	14,120,342					
事業費						
外注費	1,303,610	0	0	0	0	1,303,610
備品費	0	0	0	0	0	0
図書費	42,328	0	42,328	0	0	0
印刷費	373,901	57,316	62,520	115,940	65	138,060
通信運搬費	519,594	147,786	1,654	17,579	2,440	350,135
消耗品費	363,329	70,701	35,750	80,845	5,000	171,033
旅費交通費	350,640	31,930	0	314,210	4,500	0
諸謝金	693,750	104,450	0	589,300	0	0
保険料	30,180	0	0	24,450	0	5,730
賃借料	243,599	107,200	0	6,450	0	129,949
光熱水費	926,135	0	0	0	0	926,135
租税公課	800	0	0	0	0	800
雑費	104,107	16,068	372	81,067	0	6,600
事業費計	4,951,973	535,451	142,624	1,229,841	12,005	3,032,052
支出小計	19,072,315					
消費税及び地方消費税	1,301,600					
支出合計	20,373,915					
収支差額	1,485,848					

(参考) 施設管理の費用内訳

内容	科目	金額	備考
電話代	通信運搬費	129,138	
阪急緊急用専用回線使用料	通信運搬費	33,071	
インターネット利用料	通信運搬費	102,606	プロバイダ、ドメイン ソフトウェア更新料含む
郵便代	通信運搬費	840	
wifi 利用料	通信運搬費	84,480	
リース代	賃借料	129,949	複合機（再リース）、大型プリンター（再リース）、印刷機（再リース）、紙折機
コピー代	印刷費	138,060	
消耗品	消耗品費	171,033	
修繕費用	外注費	206,800	事務室 PAC 室内機ファンモーター取替等
電気代	光熱水費	901,818	
水道代	光熱水費	24,317	
保険	保険代	5,730	賠償責任保険
印紙代等	租税公課	800	印紙代
清掃委託	外注費	368,698	
ごみ処理委託	外注費	15,312	
機械警備委託	外注費	211,200	
消防用設備保守点検	外注費	66,000	
空調設備保守点検	外注費	319,000	
自動扉保守点検	外注費	116,600	
振込手数料（外注費他）	雑費	6,600	
合計		3,032,052	